

平成17年度学術創成研究費中間評価結果

研究課題名	フォトリック結晶工学の深化とその応用に関する研究	研究代表者名	野田 進
-------	--------------------------	--------	------

1 研究を推進する必要性について

推薦の趣旨に照らし、採択時以降の関連研究分野の学術動向を踏まえた上で引き続き研究を推進する必要性は高いか

- ア．高い
- イ．やや高い
- ウ．やや低い
- エ．低い

コメント：この分野の先導的研究であり、国際的にも他の追随を許さない程の成果を挙げており、引き続き研究を推進する必要性は高い。

2 研究の進捗状況について

(1) 当初の研究目的に沿って、着実に研究が進展しているか

- ア．予定以上に進展している
- イ．概ね予定どおり進展している
- ウ．やや遅れている
- エ．遅れている

コメント：高い目標を掲げ、新しい現象を見いだしており、着実に研究は進展している。

(2) 今後の研究推進上、問題となる点はないか

- ア．研究経費
- イ．設備
- ウ．組織
- エ．その他

コメント：特になし。

3 これまでの研究成果について

当初の研究目的に照らして、現時点で期待された成果をあげているか (又はあげつつあるか)

- ア．期待以上の成果をあげている
- イ．概ね期待された成果をあげている
- ウ．期待された成果をあげつつある
- エ．期待された成果はあがっていない

コメント：成果の発信には積極的に努めており、国際的にも評価の高い論文掲載も積極的に行われている。

4 研究組織について

研究者相互に有機的に連携が保たれ、活発な研究活動が展開される研究組織となっているか

- ア．有機的に連携が保たれている
- イ．あまり有機的に連携が保たれていない
- ウ．その他

コメント：特になし。

5 研究経費の使用状況について

研究経費は効率的・効果的に使用されているか

- ア．効率的・効果的に使用されている
- イ．あまり効率的・効果的に使用されていない
- ウ．その他

コメント：特になし。

[研究課題の総合的な評価]

区分	評価基準	チェック欄
A +	研究の更なる発展が期待でき、より一層の推進を期待する	
A	順調に研究成果を上げつつあり、現行のまま推進すればよい	
B	概ね順調に研究が進んでいるが、今後一層の努力が必要である	
C	現状において研究成果が期待できず、研究経費の減額又は研究の中止が適当である	

[総合的な評価についてのコメント]

コメント：フォトニック結晶の立体構造の製作に成功したことは、同じテーマに取り組んでいる諸外国に先んじた成果であり、光子の自在な制御を目指す「フォトニック結晶工学」の更なる深化を期待するとともに、今後の実用化を目指した応用研究についても世界を先導する研究成果を挙げていくことが望まれる。